

富士興産

【東京】富士興産が展開する「低炭素商材」が充実度を増している。主力のバイオディーゼル燃料（BDF）や再生重油に加え、昨年12月には「カーボンオフセット燃料」の販売を開始。5月28～30日に東京都江東区の東京ビッグサイトで開かれた「2025NEW環境展／地球温暖化防止展」で、三つの商材を来場者にアピールした。

BDFは廃食油から重油（に、政府がCつくる軽油や重油の代O₂（二酸化炭素）削減燃料。同社は軽油へ減効果を認証した「Jの混和率ごとに5%の「クレジット」を付帯「B5」、30%の「Bを相殺する。BDFと30」、BDF100%の「B100」などのラインアップを取りそろえる。

オフセット燃料は既再生重油は使用済み存の燃料油（灯・軽・潤滑油を主原料とし、

低炭素商材を拡充 「環境展」でBDFなどアピール



環境性・経済性に優れた燃料商社・販売業者なども訪れた。訪問者数は昨年の約2倍に伸びる。各商材を組み合わせたことで、事業者ごとに最適な「低炭素ソリューション」を提供できるのが同社の強みだ。恩田靖執行役員販売本部次世代エネルギー部長は「BDF、再生重油、オフセット燃料の三つのソリューションを提示している事になった」と手応えを示した。

「BDF、再生重油、オフセット燃料の三つのソリューションを提示している事になった」と手応えを示した。口が三つあることで提案にバリエーションができる」と語る。展示会のブースでは各商材に関する説明を掲示。ブースには製造業や建設業、運送業といった需要家に加え、

出展は2024年に続いて2回目、前回よりもブースの規模と人員を2倍に拡大。オリジナルのTシャツを着用した若手社員などが訪問者対応にあたった。

提案バリエーション増え訪問者倍増